

## 南式のタイ現地法人

# 印にサービス拠点開設 補修部品在庫し迅速対応



足立琢哉社長

金型用油圧シリンダの南武(野村伯英社長)のタイ拠点のNAMBU・CYL・タイランド(アマタナコーン工業団地、足立琢哉社長)は、インド南部のバンガロールにサービス拠点を

開設、8月1日から活動を開始した。所在地は、東京鋳造所のバンガロール工場内で、パッキン等の補修部品の在庫を持ち、緊急のトラブルにもスピーディーに対応する。

インドの自動車販売台数は、昨年400万台を突破。ダイカスト市場としても、今後の急拡大が予想されている。

同社の前6月期売上高は、前期比18%増の1億

6,000万バーツだった。今期は、2億バーツの見込み。売上げのうち、インド向けは、平均して25%を占めている。

現工場の建屋面積は、約2,500平方メートルで、現在、800平方メートルを拡張中。メイン設備についても、MCを3台から4台に、NC8台を10台に、それぞれ増強し、能力アップを図る。完成は、年内を予定している。